

6 3 6 1 - 1 1 1 8

平成 2 1 年 7 月 2 7 日

各関係機関長

各病害虫防除員 様

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

## 病害虫防除情報第 4 号

チャノコカクモンハマキ、チャハマキがやや多～多発生となっていますので、発生状況と防除上の注意についてお知らせします。

各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

1. 作物名 チャ

2. 病害虫名 チャノコカクモンハマキ、チャハマキ

3. 発生状況

1) チャノコカクモンハマキ

7月中旬の巡回調査における発生状況は表1のとおりで、発生面積率、 $m^2$ 当たり幼虫数ともに平年より多い。

また、都城市に設置しているフェロモントラップの成虫誘殺数は、平年より多い傾向が続いている(図1)。

2) チャハマキ

7月中旬の巡回調査における発生状況は表1のとおりで、発生面積率、 $m^2$ 当たり幼虫数ともに平年よりやや多い。

また、都城市、三股町に設置しているフェロモントラップの成虫誘殺数は、都城では4月以降、三股町では6月以降平年より多い傾向が続いている(図2)。

表1 7月中旬の巡回調査における発生状況

|    | チャノコカクモンハマキ  |                   | チャハマキ        |                   |
|----|--------------|-------------------|--------------|-------------------|
|    | 発生面積率<br>(%) | 幼虫数/ $m^2$<br>(頭) | 発生面積率<br>(%) | 幼虫数/ $m^2$<br>(頭) |
| 本年 | 17.6         | 0.3               | 11.8         | 0.4               |
| 平年 | 2.7          | 0.1               | 7.3          | 0.2               |
| 前年 | 0.0          | 0.0               | 0.0          | 0.0               |

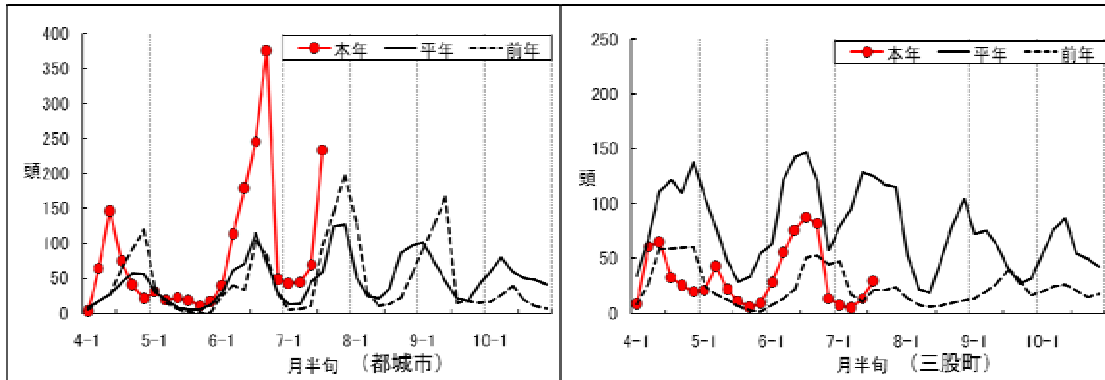


図1 フェロモントラップによるチャノコカクモンハマキ誘殺数

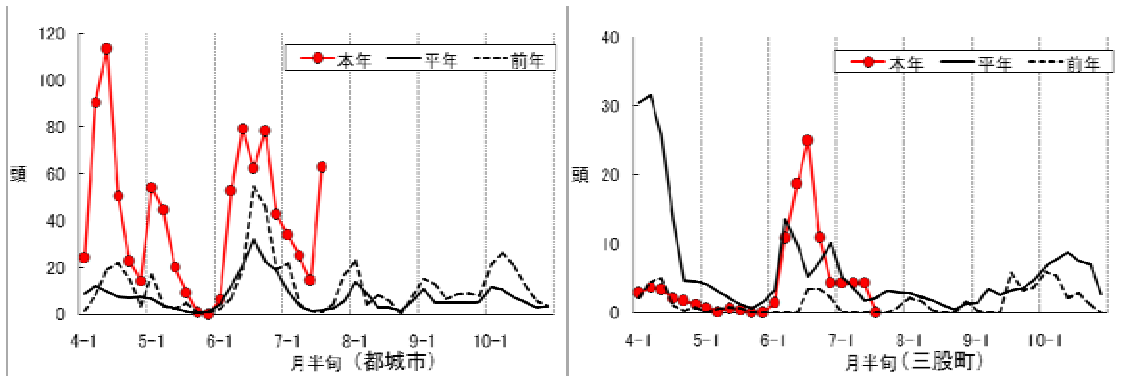


図2 フェロモントラップによるチャハマキ誘殺数

#### 4. 防除上の注意

- 1) 現在発生が見られる園では、今後も被害が増加するおそれがあるため、発生状況を確認し、農薬による防除を行う。
- 2) 両種とも農薬による防除適期は成虫発生最盛期の7日～10日後である。最盛期は年や地域によって異なるので、フェロモントラップでの誘殺消長調査の結果を参考にする。
- 3) チャノコカクモンハマキは平坦部では通常5回発生で、次の成虫発生最盛期は都城市では7月下旬～8月上旬と予想される。
- 4) チャハマキは年4回発生であるが、8月以降は発生がダラダラと長期にわたることがある。次の成虫発生最盛期は都城市では8月上旬～中旬と予想される。
- 5) 防除農薬等、その他の詳細については、病害虫防除・肥料検査センター、総合農業試験場（茶業支場・生物環境部）、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）に照会すること。また、農薬使用基準を遵守し危被害防止に努める。

#### 《連絡先》

病害虫防除・肥料検査センター 邊見  
 TEL：0985-73-6670 FAX：0985-73-7499  
 ホームページ：<http://www.jppn.ne.jp/miyazaki>  
 E-mail：byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp